

科目名 Subject Name	Speaking Skills I B				
科目名(英) Same as Above	Speaking Skills I B				
単位数 Credits	4単位	時間数	60時間	担当者	Keith Kelly, Andy Highcock, Scott Newby, Robert Jonathan Sumner
実施年度 Year	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年 Class	Global Communication (Global Business Course) 1				
授業概要 Subject Description	1. Students can improve their English proficiency. 2. Students can gain more confidence in using English. 3. Students can gain English skills for living abroad, work and proficiency tests.				
授業形態 Class Format	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態: ○ その他: △
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○		○	
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References	Speakout Pre-intermediate A				
授業計画 Class Schedules and Contents	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	Summer Holidays			none
	2	Teacher's lesson			none
	3	Unit 4.1			Preview lesson materials
	4	Unit 4.2			Preview lesson materials and review previous lesson
	5	Unit 4.3			Preview lesson materials and review previous lesson
	6	unit 4.4			Preview lesson materials and review previous lesson
	7	Unit 4.5 Review			Preview lesson materials and review previous lesson
	8	Halloween Prep			Preview lesson materials and review previous lesson
	9	Unit 5.1			Preview lesson materials and review previous lesson
	10	Halloween Lesson / Unit 5.2			Preview lesson materials and review previous lesson
	11	Unit 5.3			Preview lesson materials and review previous lesson
	12	Halloween Lesson / Teacher's lesson			Preview lesson materials and review previous lesson
	13	Unit 5.4			Preview lesson materials and review previous lesson
	14	Halloween Lesson / Unit 5.5 Review			Preview lesson materials and review previous lesson
	15	Unit 6.1			Preview lesson materials and review previous lesson
	16	Unit 6.2			Preview lesson materials and review previous lesson
	17	Christmas Lesson			Preview lesson materials and review previous lesson
	18	Unit 6.3			Preview lesson materials and review previous lesson
	19	Unit 6.4			Preview lesson materials and review previous lesson
	20	Unit 6.5 Review			Preview lesson materials and review previous lesson
	21	Unit 7.1			Preview lesson materials and review previous lesson
	22	Unit 7.2			Preview lesson materials and review previous lesson
	23	Unit 7.3			Preview lesson materials and review previous lesson
	24	Unit 7.4			Preview lesson materials and review previous lesson
	25	Unit 7.5 Review			Preview lesson materials and review previous lesson

	26	Speaking Test Practice	Preview lesson materials and review previous lesson				
	27	Speaking Test Practice	Preview lesson materials and review previous lesson				
	28	Speaking Test Practice	Preview lesson materials and review previous lesson				
	29	Speaking Test Practice	Preview lesson materials and review previous lesson				
	30	Speaking Test (Test Period)					
評価方法 Assessment Method	Students evaluation: (1) Test – 50% (2) In-class Tasks – 50% The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験 Semester End Exam	○	○		○		50%
	小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%
履修上の注意 Remarks	Students will not receive a grade if they miss more than 10 classes.						

科目名 Subject Name		English Recitation					
科目名(英) Same as Above		English Recitation					
単位数 Credits	2単位	時間数	30時間	担当者	Keith Kelly / Andy Highcock		
実施年度 Year	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年 Class	Global Communication (English Communication Course & Global Business Course) 1						
授業概要 Subject Description	1. Students can develop public speaking skills. 2. Students can develop their pronunciation skills. 3. Students can increase their public speaking confidence.						
授業形態 Class Format	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				Students can develop public speaking skills.	
	○	○				Students can develop their pronunciation skills.	
	○	○				Students can increase their public speaking confidence.	
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References	Handouts						
授業計画 Class Schedules and Contents	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Course Introduction					
	2	Test lines 1- 4 Memorization lines 5 -10				Learn poem	
	3	Test lines 1 -10 Memorization lines 11 -16				Learn poem	
	4	Test lines 1- 16 Memorization lines 17 -20				Learn poem	
	5	Test lines 1- 20 Memorization lines 21 -24				Learn poem	
	6	Test lines 1- 24 Memorization lines 25 -28				Learn poem	
	7	Test lines 1- 28 Memorization lines 29-32				Learn poem	
	8	Test lines 1- 32 Memorization lines 33 -36				Learn poem	
	9	Test lines 33 -36 and focus on pronunciation				Learn poem	
	10	Test lines 1 - 36 and focus on intonation				Learn poem	
	11	Test lines 1-36 and focus on gestures				Learn poem	
	12	Pair practice lines 1 - 36				Make audio recording of poem	
	13	Test lines 1 - 36 focus on speed and volume				Make audio recording of poem	
	14	In class competition				Make audio recording of poem	
	15	Recitation Contest				Students make presentations	
評価方法 Assessment Method	Students evaluation: (1) One presentation - 50% (2) Class participation - 25% (3) Attendance - 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト In-class Tasks	○	○	○	○		50%
	発表・作品 Presentation/Works	○	○	○	○		50%
履修上の注意 Remarks	Students will not receive a grade if they miss more than 5 classes.						

科目名	MOS演習 I B				
科目名(英)	MOS I B (PowerPoint)				
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	宮原 裕花
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	コンピューター会社にてPCインストラクターとして勤務
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科 (グローバルビジネスコース) 1年				
授業概要	タイピング練習にて、正確で速いタイピング技術を身につける。 PowerPointの基本操作を学び、さまざまな目的や状況に応じてプレゼンテーションを作成・編集できるようにする。 また、MOS PowerPoint対策問題の演習を通じて、応用力を養い、MOSの合格を目指す。				
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
			○		
	目標				
	正確で速いタイピングができる。				
	プレゼンテーションの作成と管理、テキスト、図形、画像の挿入と書式設定ができる。				
	表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入ができる。				
学習目標 (到達目標)	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	FOM出版 MOS PowerPoint 2019 対策テキスト&問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	タイピング練習、プレゼンテーションの作成と管理(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	2	タイピング練習、プレゼンテーションの作成と管理(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	3	タイピング練習、プレゼンテーションの作成と管理(3)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	4	タイピング練習、プレゼンテーションの作成と管理(4)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	5	タイピング練習、テキスト・図形・画像の挿入と書式設定(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	6	タイピング練習、テキスト・図形・画像の挿入と書式設定(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	7	タイピング練習、テキスト・図形・画像の挿入と書式設定(3)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	8	タイピング練習、テキスト・図形・画像の挿入と書式設定(4)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	9	タイピング練習、表・グラフ・SmartArt・メディアの挿入(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	10	タイピング練習、表・グラフ・SmartArt・メディアの挿入(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	11	タイピング練習、表・グラフ・SmartArt・メディアの挿入(3)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	12	タイピング練習、表・グラフ・SmartArt・メディアの挿入(4)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	13	タイピング練習、画面切り替えやアニメーションの適用(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	14	タイピング練習、画面切り替えやアニメーションの適用(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	15	タイピング練習、画面切り替えやアニメーションの適用(3)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	16	タイピング練習、複数のプレゼンテーションの管理(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	17	タイピング練習、複数のプレゼンテーションの管理(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	18	タイピング練習、複数のプレゼンテーションの管理(3)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	19	模擬問題(1)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	20	模擬問題(2)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	21	模擬問題(3)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	22	模擬問題(4)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと
	23	模擬問題(5)			テキストの該当範囲に目を通しておくこと

評価方法	(1)タイピング速度の記録を取る。(2)テキスト、各章ごとの確認テストを行う。(3)検定試験(MOS)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	評価割合
	検定試験(MOS)	○	◎	○		50%
	確認テスト	○	◎	○		20%
	タイピング技能			◎		30%
履修上の注意	PC教室の整理・整頓に留意すること。					

科目名	TOEIC対策 I C						
科目名(英)	TOEIC Test Strategies I C						
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	和田 菜穂	
実施年度	2023年度		実施時期	後期	担当者実務経験	外資系航空会社にて客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるTOEIC700点以上スコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の仕事に関連した日常業務のやりかたについての説明を理解できる。 ・次回ミーティングが、いつ、どこで行われるかについての説明を理解できる。	
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・留守電のメッセージを聞き、相手の用件や電話番号等が聞き取れる。 ・入国管理官に、滞在場所、期間、旅の目的を英語で聞かれた時、質問が理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、メガ模試TOEIC、Listening Box for TOEIC、TOEIC書き込みドリル 文法編650、はじめてのTOEIC模試、Vocabulary for Economics, Management, and International Business他						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	導入、夏休み明け復習テスト				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	2	TOEIC対策 リスニング(OL)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	3	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(品詞)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	4	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(代名詞)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	5	TOEIC対策 リスニング(OL)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	6	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(比較)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	7	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(形容詞)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	8	TOEIC対策 リスニング(OL)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	9	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(副詞)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	10	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(時制)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	11	TOEIC対策 リスニング(OL)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	12	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(態、コロケーション)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	13	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(不定詞、動名詞)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	14	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(接続詞)				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	
	15	定期試験					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。 評価方法は700点取得で100%、650点取得で95%、550点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを20回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC(IP)	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定2級対策 I C						
科目名(英)	EIKEN Test Strategies I C						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	岡本 彩
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。						
授業形態	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)	
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)	
	○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)	
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)	
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、英作文、音読、ディクテーション					
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	3	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	4	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	5	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	6	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	7	英検ライティング、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	8	英検ライティング、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	9	英検ライティング、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	10	英検ライティング、リスニング				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	11	英検模試①				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	12	英検模試②				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	13	英検本試験解説				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	14	試験対策				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	15	試験				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定準2級対策 I C						
科目名(英)	EIKEN Test Strategies I C						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	中山 久豪
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	塾講師、英語講師
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信すること は大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格を 目指す。						
授業形態	講義： ○		演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえること ができる。(読む)	
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。 (書く)	
	○	○				電話や対面の会話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることがで きる。(聞く)	
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、 短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)	
テキスト・教材 参考図書	英語検定準2級過去問						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション					
	2	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	3	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	4	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	5	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	6	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	7	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	8	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	9	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	10	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	11	英検模擬試験				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	12	英検模擬試験				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	13	英検本試験解説				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	14	英検本試験解説				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	15	授業内正試験				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	TOEIC対策 ID										
科目名(英)	TOEIC Test Strategies ID										
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		和田 菜穂		
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験		外資系航空会社にて客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年										
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるAレベル・TOEIC860点以上のスコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。										
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・International Herald Tribune」、「Financial Times」等一般的な国際英字新聞の記事を読んで、大まかに理解できる。 ・会議の議事項目(アジェンダ)を読んで理解できる。					
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。					
	○	○				社会性のある話題について書くことができる。(書く) ・今後取引先となりそうな相手に対して、自社製品を紹介・売込みのためのEメールやレターを書くことができる。 ・FAX、E-mailでホテルの予約ができる。					
	○	○				英語の履歴書を作成することができる。(書く)					
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、メガ模試TOEIC、Listening Box for TOEIC、TOEIC書き込みドリル 文法編650、はじめてのTOEIC模試、Vocabulary for Economics, Management, and International Business他										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(接続詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	2	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(前置詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	3	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	4	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(関係詞)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	5	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(語法)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	6	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	7	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(語法)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。				
	8	TOEIC対策 Part5 &Part6 文法(語法)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	9	TOEIC直前模擬試験 Q&A					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	10	TOEIC対策 Part7実践問題					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	11	TOEIC対策 Part7実践問題					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	12	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	13	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	14	TOEIC対策 リスニング(OL)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	15	TOEIC対策 Part7実践問題					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	16	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	17	中間テスト(TOEIC)②									
18	TOEIC対策 Part7実践問題					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					

	19	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	20	TOEIC対策 リスニング(OL)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	21	TOEIC対策 Part7実践問題	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	22	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	23	TOEIC直前模擬試験 Q&A	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。				
	24	Merry X'mas Entertainment					
	25	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	26	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	27	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	28	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	29	Cover letter & Resume	USBを持参すること				
	30	定期試験対策 学期総括					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを中間(10月)、学期末に実施する。(12月実施) 評価方法は730点取得で100%、650点取得で95%、550点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		5%
	Cover letter&Resume提出	◎	○				5%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定2級対策 I D				
科目名(英)	EIKEN Test Test Strategies I D				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	岡本 彩
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年				
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
目標					
説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)					
社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)					
事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)					
与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)					
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、英作文、音読、ディクテーション			
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	25	英検模試①	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	26	英検模試②	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検模試解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検模試解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検模試解説					
	30	後期のまとめ					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定準2級対策 I D									
科目名(英)	EIKEN Test Strategies I D									
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		中山 久豪	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験		塾講師、英語講師	
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科(1年課程) グローバルコミュニケーション科 ホテル・リゾート科 1年									
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。									
授業形態	講義： ○		演習： △		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)				
	○	○				社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。(書く)				
	○	○				電話や対面の会話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)				
	○	○				与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)				
テキスト・教材 参考図書	英語検定準2級過去問									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	オリエンテーション								
	2	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	3	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	4	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	5	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	6	英検対策 大問1(短文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	7	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	8	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	9	英検対策 大問2(会話文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	10	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	11	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	12	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	13	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	14	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	15	英検対策 大問4(長文の内容一致選択)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	16	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	17	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	18	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	19	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	20	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
	21	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。			
22	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)					予習、復習を行って授業に臨むこと。				

麻生外語観光＆ブライダル専門学校 シラバス

	23	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	24	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	25	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	26	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	27	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	28	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	29	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4)				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
	30	授業まとめ				予習、復習を行って授業に臨むこと。	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B				
科目名(英)	General English I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	岡本 彩
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年				
授業概要	英語を単語でなくセンテンスで表現するためには、品詞と5文型の理解が必須である。英語を作るルール(英文法)の基本となる品詞と5文型を平易な切り口で学び直し、なぜそのルールとなるのかを理解する。品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことにより、適切な英文を作成できるようになる。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	高校英文法をひとつひとつわかりやすく 基礎からのジャンプアップノート英文法演習ドリル				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、前期の復習(品詞・5文型)			
	2	前期の復習(品詞・5文型)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	前期の復習(品詞・5文型)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	態①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	態②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	態③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	態④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	態⑤			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	態⑥			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	態確認テスト			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	分詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	分詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	分詞③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	分詞④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	分詞確認テスト			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	不定詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	不定詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	不定詞③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	不定詞④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	不定詞⑤			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	不定詞確認テスト			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	動名詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	動名詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	動名詞③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	動名詞確認テスト			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	26	検定問題にチャレンジ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	検定問題にチャレンジ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	検定問題にチャレンジ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	検定問題にチャレンジ	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	前期まとめ	前回までの復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC (IP)を実施する。700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点以下、400点未満を点70点以下とする。 (3) 授業内で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B				
科目名(英)	General English I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	野々村 賢一
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	英語講師22年
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年				
授業概要	英語を単語でなくセンテンスで表現するためには、品詞と5文型の理解が必須である。英語を作るルール(英文法)の基本となる品詞と5文型を平易な切り口で学び直し、なぜそのルールとなるのかを理解する。品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことにより、適切な英文を作成できるようになる。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、前期復習			
	2	前期復習			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	3	句という塊: 準動詞 不定詞の名詞的用法			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	4	不定詞の形容詞的用法・副詞用法			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	5	不定詞、3用法のまとめとその他の用法 英文解釈			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	6	不定詞のまとめのテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	7	動名詞の説明①			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	8	動名詞の説明②			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	9	動名詞の実践練習 英文解釈			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	10	不定詞・動名詞まとめのテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	11	分詞の説明①			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	12	分詞の説明②			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	13	分詞の実践練習 英文解釈			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	14	不定詞・動名詞・分詞のまとめのテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	15	分詞構文の作り方と説明①			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	16	分詞構文の作り方と説明②			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	17	分詞構文の実践練習			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	18	準動詞 まとめテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	19	関係代名詞とは? 関係代名詞ができるまで①②③			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	20	関係代名詞 練習問題			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	21	関係代名詞 英文解釈			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	22	準動詞と関係詞のまとめテスト			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	23	関係副詞の説明			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	24	関係代名詞と関係副詞の問題 非制限用法			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	25	関係代名詞のwhat 複合関係代名詞			予習、復習を行って授業に臨むこと。

	26	複合関係副詞	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	27	関係詞のまとめの問題	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	28	これまでのまとめまとめ①	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	29	これまでのまとめ②	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	30	期末対策	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC (IP)を実施する。700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点以下、400点未満を点70点以下とする。 (3) 小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B				
科目名(英)	General English I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	未定
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年				
授業概要	英語を単語でなくセンテンスで表現するためには、品詞と5文型の理解が必須である。英語を作るルール(英文法)の基本となる品詞と5文型を平易な切り口で学び直し、なぜそのルールとなるのかを理解する。品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことにより、適切な英文を作成できるようになる。また、TOEIC Part5・7問題演習を通じ、品詞と5文型の知識を実践する。				
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	オリジナル学習プリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、品詞概要、文中での役割			
	2	自己紹介／5文型とは／第二文型 導入			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	第三文型 導入			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	第一文型 導入			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	第四文型 導入			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	第五文型 復習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	第二文型 復習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	第三文型 復習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	第一文型 復習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	第四文型 復習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	第五文型 復習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	五文型 確認テスト			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	TOEIC Part5 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	TOEIC Part6 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	TOEIC Part6 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	TOEIC Part6 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	TOEIC Part6 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	TOEIC Part6 演習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	26	TOEIC Part7 演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	TOEIC Part7 演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	TOEIC Part7 演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	TOEIC Part7 演習	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	期末テスト前復習	前回の復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1) 定期試験（筆記）を実施する。 (2) 学内でTOEIC（IP）検定試験を実施。 700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点以下、400点未満を70点以下とする。 (3) 小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S（90点以上）・A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC（IPテスト）	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B				
科目名(英)	General English I B				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	未定
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年				
授業概要	英語の基本となる品詞と5文型を正しく使用し、より複雑な英文を作成できるようになる。、品詞確認テストと項目別の演習問題を解くことで、検定取得や会話力向上に必要な英語の運用能力を高める。				
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	英文法トレーニングノートα、英文法・作文トレーニングノートα、英文法トレーニングノートβ				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	クラス概要の説明、前期の復習（品詞、文型、不定詞と動名詞）			
	2	分詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	分詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	比較①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	比較②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	比較③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	比較④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	態①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	態②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	態③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	態④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	関係詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	関係詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	関係詞③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	関係詞④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	関係詞⑤			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	関係詞⑥			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	関係詞⑦			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	仮定法①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	仮定法②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	仮定法③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	仮定法④			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	仮定法⑤			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	仮定法⑥			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	分詞構文①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	26	分詞構文②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	27	分詞構文③				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	28	分詞構文④				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	29	分詞構文⑤				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	30	後期まとめ				前回までの復習を行って授業に臨むこと	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC (IP)を実施する。700点以上を100点、650点以上を95点、550点以上を90点、500点以上を85点、470点以上を80点、465点～405点を75点、400点未満を点70点とする。 (3)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B				
科目名(英)	General English IB				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	中山 久豪
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	塾講師、英語講師
対象学科・学年	エアライン科 グローバルコミュニケーション科 1年				
授業概要	英語を単語でなく文として理解するためには、品詞と五文型についての知識習得が必要である。英文を作るルール(英文法)の基本となる品詞と五文型を学び、ルールの理解を深める。また、名詞・動詞についての知識を深め、より正確に自身の言いたいことを表現できるようになることを目標とする。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○	○			
テキスト・教材 参考図書	総合英語プリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	プレイスメントテスト 振り返り			
	2	オリエンテーション、品詞と五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	品詞と五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	第一文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	第一文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	第二文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	第二文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	第三文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	第三文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	第四文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	第四文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	第五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	第五文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	五文型まとめ			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	名詞と代名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	名詞と代名詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	一般動詞とbe動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	一般動詞とbe動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	時制			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	時制			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	三人称単数現在の動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	三人称単数現在の動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	完了形			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	完了形			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	助動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	26	助動詞	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	態	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	態	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	自己紹介文 作成	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	後期まとめ					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2) TOEIC (IP) 検定試験を4月、8月に実施する。 評価方法は700点以上取得で100%、650点以上で95%、550点以上で90%とする。それ以下も取得点数により評価に反映する。 (3) 小テストを実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S (90点以上)・A (80点以上)・B (70点以上)・C (60点以上)・D (59点以下) とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC (IP) 検定試験	◎	○				20%
	小テスト	◎	○		○		20%
履修上の注意	英単語の品詞がわかる辞書にアクセスできるようにすること。 また、出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	Intensive English Learning Program				
科目名(英)	Intensive English Learning Program				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	QQ English
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科(グローバルビジネスコース)1年				
授業概要	英語で必要となる4技能(読む・書く・聞く・話す)をマンツーマンレッスンなどの少人数制授業で伸ばします。また4倍の速さで英語が伸びるといわれているカランメソッドの導入により、結果にコミットできる授業を展開していますので、効果的に英語力をアップさせることが目標です。				
授業形態	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態: ○ その他: △
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
		○	○	○	
	目標				
	To cultivate students' globalized mind and international etiquette				
	To motivate students to study English and to make them confident about the language				
	To investigate students' knowledge and experience about their preferable major				
学習目標 (到達目標)	To improve students' English proficiency and delivery skills				
テキスト・教材 参考図書	QQ Englishオリジナルテキスト				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	Orientation and Placement Test			
	2 ~ 29	QQE Basic			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
		Speaking			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
		Listening			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
		Reading			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
		Pronunciation			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
		REMS			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
		Topic Conversation			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
		Daily English			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
		Students are allocated in the suitable lessons depending on their levels. In order to strengthen certain English skills, same curriculums are repeated intensively. 6 hours one-on-one lessons + 2 group lessons + 2 service group lessons per day x 4 weeks for the entire curriculum.			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
	30	Level check test and Graduation			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
		【QQE Basic】The students will become accustomed to the specific English 'sound' that Japanese people tend to be weak with.			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
		【Speaking】The students will learn vocabulary and expressions that are frequently used in daily life.			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
		【Listening】This curriculum lets students develop the ability to listen. It also includes topics such as conversations at restaurants, product introductions, and business scenes.			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
		【Reading】The students will attain the skill of reading comprehension. Using various topics from diverse areas, the students will use context clues to find hints with the different types of forms to attain understanding skills.			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
		【Pronunciation】By learning phonetic symbols, this curriculum corrects the "sounds" that Japanese people tend to be weak with. The tongue-twister practice allows students to clearly understand the differences in pronunciations.			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.
		【Topic Conversation】The students will share ideas with teachers about familiar topics, such as movies and health, and will improve their skill in being able to express their thoughts in English.			Sufficient preparation and completion of assignment are required before the lesson.

評価方法						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	評価割合
	Attendance				○	100%
	In-class test	○	○		○	
	Assignment Submission	○			○	
履修上の注意	プログラム中の出席が3分の2に満たない場合は単位を付与しない。					

科目名	韓国語B						
科目名(英)	Korean B						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	盧 愛蓮
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科(グローバルビジネスコース)1年						
授業概要	前期に学習した基礎をもとに、基本的な韓国語文法や会話を習得する。 固い言い方の「フォーマル体」や普段使いの「カジュアル体」を学び、また、聞き取りの練習をし、より自然な会話ができるように学習をしていく。						
授業形態	講義: △		演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				「フォーマル体」・「カジュアル体」を正しく書くことができる。	
	○	○				漢数詞・固有数詞を理解し、正しく読み書きができる。	
	○	○				会話を聞き、韓国語を正しく聞き取ることができる。	
	○	○	○			基本的な文法を習得し、会話ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・自作資料 ・基礎から学ぶ韓国語講座 初級						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第6課 「します／しますか」(カジュアル体)				習った部分を復習する。	
	2	第6課 「します／しますか」(カジュアル体)				習った部分を復習する。	
	3	第7課 動詞・形容詞(フォーマル体)				習った部分を復習する。	
	4	第7課 動詞・形容詞(フォーマル体)				習った部分を復習する。	
	5	第8課 動詞・形容詞(カジュアル体)				習った部分を復習する。	
	6	第8課 動詞・形容詞(カジュアル体)				習った部分を復習する。	
	7	小テスト				授業前: 1～3課をテストに備えて覚える。	
	8	第9課 漢数詞				習った部分を復習する。	
	9	第9課 漢数詞				習った部分を復習する。	
	10	第10課 固有数詞				習った部分を復習する。	
	11	第10課 固有数詞				習った部分を復習する。	
	12	第11課 尊敬形				習った部分を復習する。	
	13	第11課 尊敬形				習った部分を復習する。	
	14	小テスト				授業前: 1～3課をテストに備えて覚える。	
15	後期の総復習				習った部分を復習し、期末試験に備える。		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。 (2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	小テスト(2回)	◎	◎	◎			20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。						

科目名	商業簿記B					
科目名(英)	Book Keeping B					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	池前 むつみ	
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	企業にて経理担当として勤務	
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科(グローバルビジネスコース)1年					
授業概要	経理関連書類の適切な処理や初歩的な実務がある程度できるよう、日商簿記検定試験に向けて本番さながらの問題を解いていき基本的な商業簿記を修得する。					
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○	○				取引を勘定科目を使い仕訳することができる。
		○				取引・仕訳に見合った帳簿作成ができる。
		○		○		決算整理後の試算表、精算表、貸借対照表・損益計算書の作成ができる。
テキスト・教材 参考図書	TAC出版日商簿記3級よくわかる簿記シリーズ合格テキスト・合格トレーニング、究極の仕訳集					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	後期授業と日商簿記検定について、その他の取引Ⅰ				テキストとトレーニングを持参する(24回目まで使用する)
	2	その他の取引Ⅱ 未払金まで				
	3	その他の取引Ⅱ 修繕と改良、その他の取引Ⅲ 仮受金まで				
	4	その他の取引Ⅲ 諸会費まで				
	5	訂正仕訳、試算表について				電卓を持参すること。
	6	決算について、現金過不足				
	7	貯蔵品・当座借越				
	8	売上原価				
	9	貸倒れ				これより、電卓を必ず毎回持参すること。
	10	有形固定資産の減価償却				
	11	減価償却している有形固定資産の売却				
	12	経過勘定項目 前払い前受け				
	13	経過勘定項目 未払い未収				
	14	決算整理後残高試算表				
	15	試算表の作成				
	16	精算表について				
	17	精算表の作成				
	18	帳簿の締め切り				
	19	損益計算書と貸借対照表について				
	20	損益計算書と貸借対照表の作成				
	21	株式の発行、剰余金の配当と処分				
	22	税金、証ひょう				
	23	伝票				
	24	仕訳日計表				ここまで、テキストとトレーニングを使用します。

	25	第1問対策、証ひょう対策	これより、本試験問題集を持ってくる				
	26	第2問対策					
	27	第3問対策					
	28	本試験演習第1回					
	29	本試験演習第2回					
	30	本試験演習第3回					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2) 授業の中で確認テストを実施する。 (3) 課題の提出状況による。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				80%
	小テスト	○	◎		○		10%
	授業姿勢				◎		10%
履修上の注意	電卓(商業用)は必ず毎回持参すること。小テス欠席者は、出席時に実施します。						

科目名	SPI D						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	瀧口／中山／合力／松藤
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科 1年						
授業概要	航空業界の各企業で実施をされるテストセンターやWEBテスト、ペーパーテストの対策として、SPIの頻出テーマの応用問題に取り組んでいく。この授業では、前期に学んだ解き方を活用して、制限時間内に正解を導き出す力を養う。また、WEBテストの四則逆算問題対策として、毎回ドリルに取り組む。						
授業形態	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				前期に学んだ解き方を用いて、応用問題を解くことができる。	
		○				計算時間を短縮する工夫を学び、目標時間内に問題を解くことができる。	
		○				四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	「最新最強のSPIクリア問題集 24年度版」(成美堂出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	仕事算、損益算、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	2	場合の数、確率、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	3	分割払いと割合、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	4	推論①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	5	推論②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	6	推論③、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	7	後期前半のまとめ				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	8	■中間テスト					
	9	図表の読み取り①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	10	図表の読み取り②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	11	模擬試験問題①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	12	模擬試験問題①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	13	模擬試験問題②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	14	模擬試験問題②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	15	後期後半のまとめ、後期試験対策					
評価方法	(1)定期試験 (2)中間テスト (3)出席状況 以上を、以下の観点・割合かで評価をする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎		○		80%
	中間テスト		◎		○		10%
	出席状況				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	SPI E									
科目名(英)										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		瀧口／中山／合力／松藤	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科 1年									
授業概要	航空業界の各企業で実施をされるテストセンターやWEBテスト、ペーパーテストの対策として、SPIの頻出テーマの応用問題に取り組んでいく。この授業では、前期に学んだ解き方を活用して、制限時間内に正解を導き出す力を養う。また、WEBテストの四則逆算問題対策として、毎回ドリルに取り組む。									
授業形態	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
		○				前期に学んだ解き方を用いて、応用問題を解くことができる。				
		○				計算時間を短縮する工夫を学び、目標時間内に問題を解くことができる。				
		○				四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。				
テキスト・教材 参考図書	「最新最強のSPIクリア問題集 24年度版」(成美堂出版)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	仕事算、損益算、四則逆算					テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	2	場合の数、確率、四則逆算					テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	3	分割払いと割合、四則逆算					テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	4	推論①、四則逆算					テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	5	推論②、四則逆算					テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	6	推論③、四則逆算					テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	7	後期前半のまとめ					テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	8	■中間テスト								
	9	図表の読み取り①、四則逆算					テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	10	図表の読み取り②、四則逆算					テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	11	模擬試験問題①、四則逆算					テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	12	模擬試験問題①、四則逆算					テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	13	模擬試験問題②、四則逆算					テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
	14	模擬試験問題②、四則逆算					テキストの該当部分の復習(0.5時間)			
15	後期後半のまとめ、後期試験対策									
評価方法	(1)定期試験 (2)中間テスト (3)出席状況 以上を、以下の観点・割合かで評価をする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験			◎		○		80%		
	中間テスト			◎		○		10%		
	出席状況					○		10%		
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。									

科目名	SPI F						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	瀧口／中山／合力／松藤
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科 1年						
授業概要	航空業界の各企業で実施をされるテストセンターやWEBテスト、ペーパーテストの対策として、SPIの頻出テーマの応用問題に取り組んでいく。この授業では、前期に学んだ解き方を活用して、制限時間内に正解を導き出す力を養う。また、WEBテストの四則逆算問題対策として、毎回ドリルに取り組む。						
授業形態	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				前期に学んだ解き方を用いて、応用問題を解くことができる。	
		○				計算時間を短縮する工夫を学び、目標時間内に問題を解くことができる。	
		○				四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	「最新最強のSPIクリア問題集 24年度版」(成美堂出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	仕事算、損益算、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	2	場合の数、確率、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	3	分割払いと割合、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	4	推論①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	5	推論②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	6	推論③、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	7	後期前半のまとめ				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	8	■中間テスト					
	9	図表の読み取り①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	10	図表の読み取り②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	11	模擬試験問題①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	12	模擬試験問題①、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	13	模擬試験問題②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	14	模擬試験問題②、四則逆算				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	15	後期後半のまとめ、後期試験対策					
評価方法	(1)定期試験 (2)中間テスト (3)出席状況 以上を、以下の観点・割合かで評価をする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎		○		80%
	中間テスト		◎		○		10%
	出席状況				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	キャリアデザイン I B						
科目名(英)	Career Design I B						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	若松 昌枝
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科(グローバルビジネスコース)1年						
授業概要	社会人としての基礎知識を学ぶとともに社会人基礎力を養成し、就職活動の主となる面接に臨む姿勢を身に付ける。希望する業界の動向や社会のトレンドを知り、就職活動に向け具体的な準備を行う。						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○			○		就職活動準備に向けて、自ら情報集を行い、希望職種についての理解を深める。	
	○	○				自分の言葉で考えを伝えることができる。	
				○		社会人として必要な身だしなみやマナーを実践できる。	
				○		将来の目標を明確にし、主体的に活動することができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナル教材						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、就職活動概要				就職について具体的に考えてくること	
	2	就職するということを考える				求職票の下書きを作成して臨むこと	
	3	業種・職種を知ろう					
	4	自己分析、「自己PR」1				自分の強みを文章でまとめておくこと。	
	5	自己分析、「自己PR」2				趣味・特技・アルバイトについて文章でまとめておくこと。	
	6	求職票下書き1					
	7	求職票下書き2					
	8	美容講座/着こなし講座					
	9	求職票清書1					
	10	求職票清書2					
	11	求職票受付面接対策1					
	12	求職票受付面接対策2					
	13	履歴書下書き1					
	14	履歴書下書き2					
	15	面接対策					
評価方法	(1)後期中に2回作文を提出する。(2)その他提出物の期限を遵守する。(3)自分の考えを積極的に発言する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作文提出状況	○	○		○		80%
	履歴書・求職票作成	○	○		○		10%
	発表・発言	○			○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。上記以外の時間帯で面接練習を実施する予定あり。その際は時間を調整して参加すること。						

科目名	就職実務										
科目名(英)	Job Hunting Tips and Techniques										
単位数	1単位		時間数		15時間		担当者		若松 昌枝		
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験				
対象学科・学年	グローバルコミュニケーション科(グローバルビジネスコース)1年										
授業概要	就職活動に必須の自己分析、業界/職種研究、履歴書/エントリーシートの書き方、面接対策等の手法を、講義・演習を交えながら学ぶ。あわせて、情報収集の手法、就職活動の流れ、全体像を把握し、自立した就職活動ができるように支援を行う。										
授業形態	講義: △		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○			○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。					
テキスト・教材 参考図書	就職ナビノート 他										
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示			
	1	導入(昨年度実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなど)									
	2	今後の就職活動に向けて(1)ー求人票の見方									
	3	今後の就職活動に向けて(2)ー就職斡旋規定									
	4	履歴書・エントリーシートの書き方									
	5	筆記試験対策講座(SPI、一般常識、時事問題)									
	6	面接対策講座						就職に臨むうえで適切な服装で参加すること			
	7	面接対策講座						就職に臨むうえで適切な服装で参加すること			
	8	面接対策講座						就職に臨むうえで適切な服装で参加すること			
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
評価方法	(1)企業研究、自己分析レポート作成 (2)就職活動報告書提出 など総合的に判断し、評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。										
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	レポート作成		○	○		◎		100%			
	就職活動報告書提出		○			◎					
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。										